

ユーザーガイド

Profoto L600D

Profoto L600C

他言語は以下にアクセスしてください。

Pour les autres langues, veuillez consulter :

www.profoto.com/support



一般的な安全上の注意事項



重要な安全情報と警告

本機を操作する前に、クイックスタートおよび安全ガイド (QSSG) と本ユーザーガイドの両方を必ずお読みください。QSSG には重要な安全性および規制情報が記載されており、常に確認できる状態にしておく必要があります。

本製品はプロフェッショナルな屋内使用のみを目的としています。



一般的な警告

- 湿度の高い環境での急激な温度変化は避けてください。内部結露の原因となります。
- 可燃性ガス、ほこり、または強い電磁場のある場所で機材を操作しないでください。
- 承認されたライトシェーピングツールおよび Profoto 推奨電源ケーブルとのみ併用が可能です。
- 光源が熱によって損傷または変形した場合、Profoto または認定サービスパートナーのみ交換できます。
- 本機をコネクタやケーブルで持ち上げないでください。
- 本機を狭い密閉空間で使用しないでください。適切な換気を確認し、換気口を塞がないようにしてください。ファンの羽根が自由に動くことを確認してください。
- ご使用前に輸送用キャップを外してください。
- 本機を直射日光、熱源、火気に近づけないでください。
- Profoto 製品は、画像キャプチャ (写真およびビデオ) のみを目的としており、それ以外の使用は許可されていません。
- ヨークを調整する際は、手を挟む危険性に注意してください。
- 取り付けの際は、必ず安全ストラップで機材を固定してください。



警告 - 感電 - 高電圧

- 本製品は、必ず保護接地 (アース) のある主電源コンセントに接続してください。
- 絶対に製品を自分で開けたり、分解したり、修理を試みたりしないでください。電源オフの場合やプラグが抜かれた状態でも、高電圧 (危険な電流) が存在する場合があります。
- 認定された Profoto サービス担当者のみが、ユニットを修理、変更、点検することができます。
- 製品の筐体が損傷している場合は、直ちに使用を中止し、電源を切ったのち、Profoto サービスにお問い合わせください。
- 切断デバイスは主電源プラグです。主電源プラグはいつでも簡単に抜ける状態にしてください。プラグを抜くときは、ケーブルではなく、必ずプラグを持って抜いてください。

- 家庭用の延長コードは使用しないでください。
- 定格入力電圧と電流がユーザーガイドに記載されているものと一致していることを確認してください。



注意 – やけどの危険

- 光源付近の表面、金属部品、レンズ、ガラスカバーの一部は、運転中に非常に熱くなることがあります。
- 加熱した部品を素手で触らないでください。
- 光源を人や物に近づけすぎないでください。



- 最も近い表面まで最低でも0.3mの距離を保ってください。



注意 – 光放射

- この製品は強い光を放射します。
- 使用中に光源を直視しないでください。目に有害な場合があります。

NOTICE RF(無線周波数)に関する注意事項

- この機材は無線周波数 (RF) エネルギーを放出し、共有スペクトルを使用します。そのため、干渉の可能性を排除することはできません。
- 現地の RF 規制に従って操作してください。
- 規制は変更される可能性があります。Profoto アプリを使用してファームウェアを最新の状態に保ってください。
- RF 暴露規則を遵守するため、通常操作中は、ユーザーと本機の間に少なくとも 20cm の距離を保ってください。

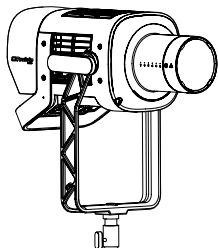
目次

一般的な安全上の注意事項.....	2
付属品	6
製品概要	7
安全な取り扱いと輸送	9
セットアップ方法	9
保護キャップの取り外しと取り付け.....	9
ライトの取り付け	10
ベビーピン (16 mm / 5/8インチ) でスタンドにライトを取り付けま す.....	10
ジュニアレシーバー (28 mm) を使用したスタンドへのライトの取り付 け.....	11
ヨークの傾斜角度の調整	12
天井にライトを取り付ける.....	12
Profoto ライトシェーピングツールを取り付ける	13
リフレクターの取り付け.....	13
アンブレラの取り付け.....	14
電源ケーブルの接続	14
製品登録.....	15
操作手順	16
コントロールボタンとダイヤル機能.....	16
右 (白) ボタンー オン／オフ	16
センターダイヤルー メイン調光	16
左ダイヤル	17
ライトのオン／オフの切り替え	17
ライトの調光.....	17
ユーザーインターフェースのロック／ロック解除.....	17
ライトモードの選択と制御 (L600C のみ)	18
CCT ライトモード	19
HSI ライトモード	20
XY ライトモード	21
RGBW ライトモード.....	22
GEL (カラーフィルター) ライトモード	23

有線または無線リモートコントロールの設定	24
有線 DMX	24
CRMX	26
Bluetooth CRMX	28
Profoto Control アプリ	29
Profoto Air (および Air フラッシュモード)	30
設定メニューのナビゲーション	32
DMX 設定	33
ワイヤレス設定	35
Bluetooth 設定	36
ライトモード設定 (L600C のみ)	36
調光カーブ設定:	36
CCT 出力設定 (L600C のみ)	37
RGBW カラースペース設定 (L600C のみ)	37
Auto on (自動 ON) 設定	37
Fan (ファン) 設定	38
Input power limit (入力電力制限) 設定	38
Display option (表示オプション) 設定	39
General (一般情報)	40
Factory reset (出荷時の設定に戻す)	40
Automatic Temperature Protection (自動温度保護)	41
サービスおよびメンテナンス	42
セルフメンテナンス	42
修理	42
ファームウェアアップデート	43
デバイスに関する規制情報	45
デバイスのシリアル番号	45
技術仕様	46
保証	47
クレジット	47

付属品

この製品には以下のアイテムが付属しています。箱に同梱されていないものがある場合は、販売店にご連絡ください。



1



2



3



4



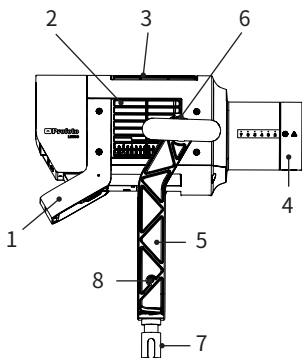
5



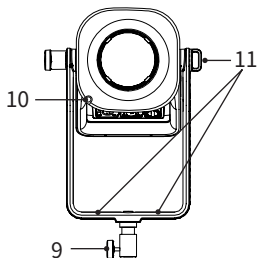
6

1. ヨーク付き L600C / L600D ライト
2. 輸送・収納ケース
3. 輸送用保護キャップ
4. AC 電源コード (7m / 23 フィート)
5. 安全ストラップ
6. QSSG (クイックスタートおよび安全ガイド)

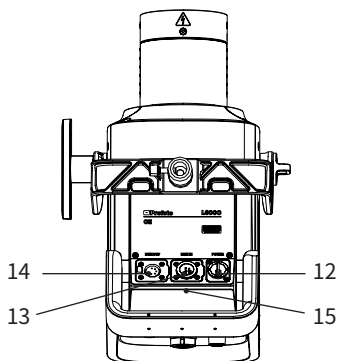
製品概要



- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. ハンドル | 5. ヨーク |
| 2. ファン吸気口 | 6. ヨークロック |
| 3. ファン排気口 | 7. スタンドアダプター |
| 4. Profoto マウント | 8. スタンドアダプター用ネジホルダー |



- | | |
|-----------------|------------------|
| 9. スタンドアダプター用ネジ | 11. 安全ワイヤー接続ポイント |
| 10. アンブレラマウント | |

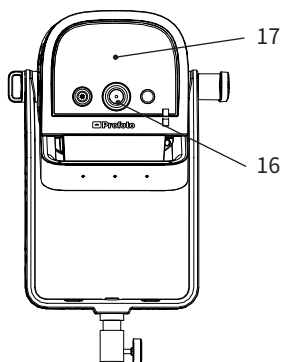


12. 電源／AC 差し込み口

14. DMX 出力ポート

13. DMX 入力ポート

15. USB サービスポート



16. コントロールダイヤルとボ
タン

17. ディスプレイ

安全な取り扱いと輸送

安全上の注意事項をお読みください。

ご使用前に必ず点検を行ってください。外部に亀裂がある場合は、製品を使用しないでください。

ご使用後は必ず冷却してください。

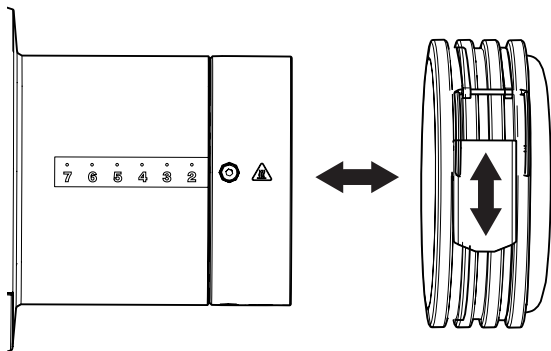
輸送中の破損を防ぐため、必ず輸送用保護キャップを取り付け、付属のケースに入れてください。

セットアップ方法

保護キャップの取り外しと取り付け

ライトを使用する前に、必ず輸送用保護キャップを取り外してください。ライトを運搬する際は、必ず輸送用保護キャップを取り付けてください。

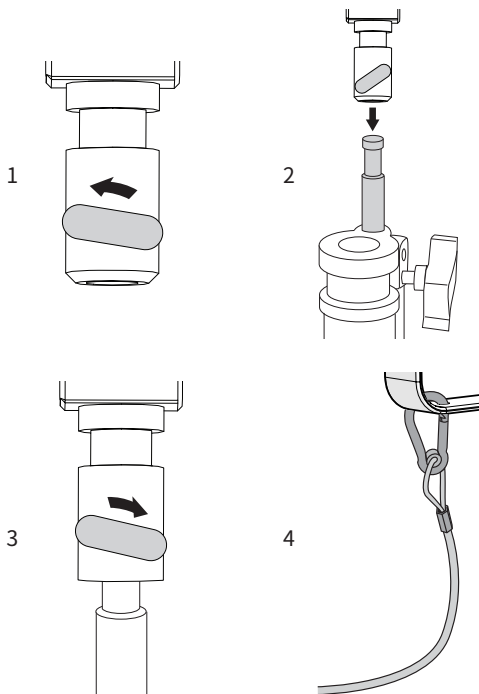
1. キャップを取り外すには、留め具のロックを解除し、ライト前面から引っぱります。
2. キャップを取り付けるには、留め具のロックが外れていることを確認し、ライトの前面に押し付けます。留め金をロックします。



ライトの取り付け

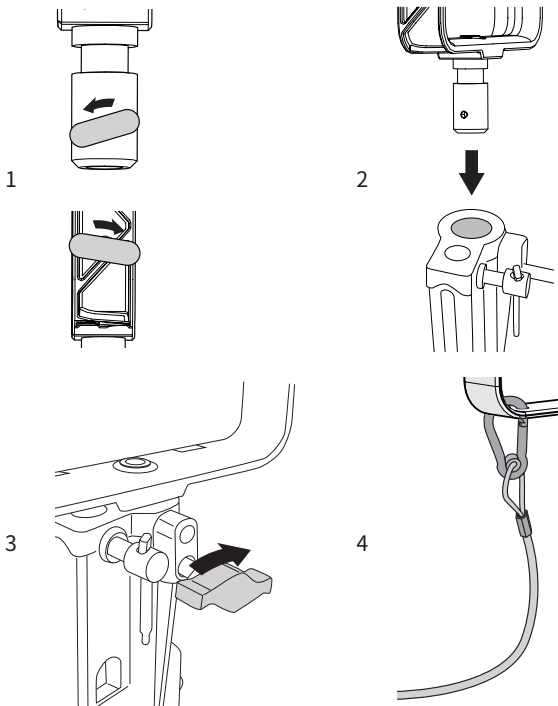
ベビーピン(16 mm / 5/8インチ)でスタンドにライトを取り付けます。

1. スタンドマウントの固定ネジを緩めます。
2. マウントをベビーピンにスライドさせます。
3. ロックボルトを締めてベビーピンに固定します。
4. 安全装置をヨークの安全ワイヤー接続ポイントのいずれかに取り付け、ライトをスタンドマウントに固定します。



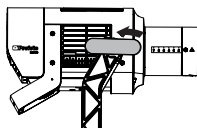
ジュニアレシーバー (28 mm) を使用したスタンドへのライトの取り付け

1. スタンドマウントから固定ネジを取り外し、ヨークの右側のネジに取り付けます。
2. スタンドマウントをスタンドのジュニアレシーバーに差し込みます。
3. ジュニアレシーバーのネジを締めます。
4. 安全装置をヨークの安全ワイヤー接続ポイントのいずれかに取り付け、ライトをスタンドマウントに固定します。

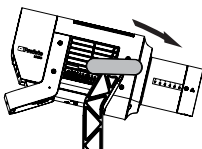


ヨークの傾斜角度の調整

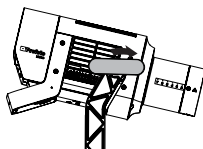
1. ヨークロックを緩めます。
2. 希望の傾斜角度に設定します。
3. ヨークロックを締めます。



1



2



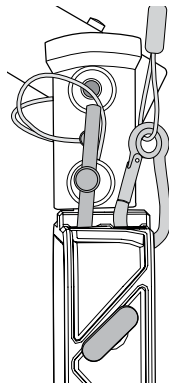
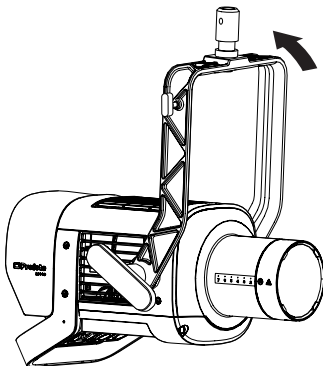
3

注意:

ヨークを回転させる際、指を挟む危険性があります()。

天井にライトを取り付ける

1. 天井に取り付ける場合は、ヨークを180度回転させてください。冷却能力が低下するため、**ライトを逆さまに取り付け**ないでください。
2. 安全装置をヨークの安全ワイヤー接続ポイントのいずれかに取り付け、ライトを天井マウントに固定します。

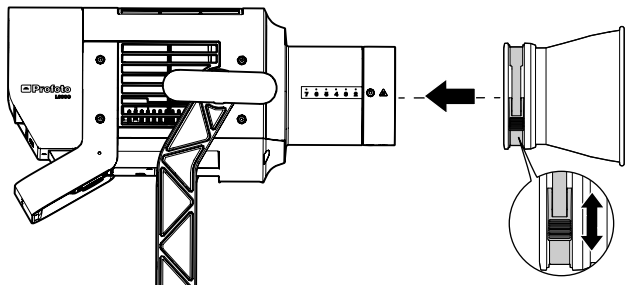


Profoto ライトシェーピングツールを取り付ける リフレクターの取り付け

L600D と L600C は、標準的な Profoto マウントを備えており、幅広い Profoto ライトシェーピングツール (リフレクター、レンズ、ソフトボックス など) に対応しています。

Profoto のリフレクターには Profoto 独自のクランプ機構が搭載されています。このため、簡単に取り付けられる上、本ユニットでズームスケールに沿ってリフレクターを前後にスライドさせるだけで照射角度を調整できます。

1. リフレクターの留め具をロック解除します。
2. リフレクターをスライドさせ、L600D / C の上に動かします。リフレクターの位置を覚えておけるようにズームスケールを使います。
3. リフレクターの留め具をロックしてリフレクターを固定します。

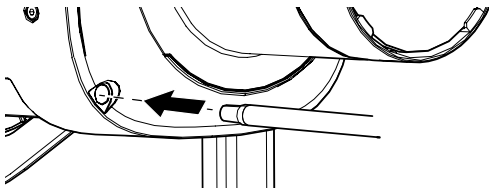


注意:

- ライトシェーピングツールや光源に近い部品は、操作中に非常に熱くなる可能性があるためご注意ください。
- 重量のあるライトシェーピングツールをフィクスチャーに固定する際は、ヨークの安全ワイヤー接続ポイントに安全ワイヤーを取り付けてください。

アンブレラの取り付け

アンブレラは、内蔵のアンブレラホルダー内にアンブレラシャフトをスライドさせると、容易に取り付けられます。アンブレラシャフトの直径が7 mm～8 mm でないと、アンブレラホルダーにはめることはできませんのでご注意ください。



注意!

このライトは、最大出力で使用すると強烈な光と熱を發します。アンブレラの竿や布地を傷めないよう、アンブレラの竿や布地と發光面との距離を 30 cm 以上離してください。

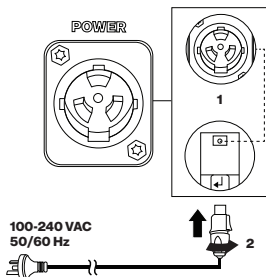
電源ケーブルの接続

注意!

電源ケーブルを接続する前に、必ずライトの輸送用保護キャップが外れていることを確認してください。

接続方法

1. PowerCON プラグを AC 差し込み口の位置決めスロットに合わせます。
2. プラグを完全に差し込み、カチッと音がしてしっかりとロックされるまで時計回りに回してください。



接続切断:

1. 取り外す前にライトを消灯してください。
2. powerCON プラグのリリースラッチを引き戻します。
3. 反時計回りにひねり、プラグをまっすぐ引き抜きます。

製品登録

製品を初めてお使いになる前に、製品登録を行い、ファームウェアアップデートを確認することを強くお勧めします。ご登録いただくことで、今後のアップデートを確実にお知らせすることができます。

ご購入後 60 日以内に製品登録された場合、以下の特典も受けられます:

- 標準保証を 1 年間延長。
- オプションで 1～3 年の延長保証 (合計 5 年まで) をご購入いただけます。

製品の登録と更新:

1. App Store または Google Play から Profoto Control をダウンロードしてください。
2. アプリを開き、アカウントを作成します。
3. ライトの電源を入れ、アプリで接続すると自動的に登録されます。
4. ファームウェアアップデートがあれば、アプリに表示されます。アップデートをタップして進めます。

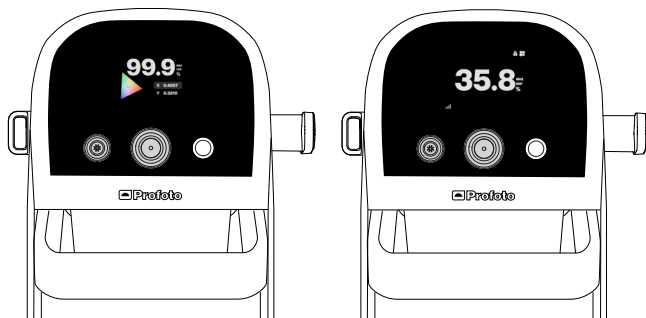
詳細については、ファームウェアアップデートのセクションを参照してください。

延長保証の申し込み方法:

1. profoto.com/myprofoto にアクセスし、ご自身のアカウントでログインします。
2. 製品に移動し、購入日を入力して 1 年間の延長標準保証を有効にします。
3. 追加の延長保証 (1～3 年) を購入するかどうかを選択します。

操作手順

コントロールボタンとダイヤル機能



右(白)ボタンーオン／オフ

- 短押し: ライトのオン／オフを切り替えます。
- 長押し: ユニットの電源を切ります。
- 設定メニュー: 短押しでメニューを終了します。

センターダイヤルーメイン調光

- 回転: 光量を調整します(0.0～100%)。回転を速くするとスピードが増加します。
- 短押し: 設定メニューを開きます。
- 長押し: コントロールをロックまたはアンロックします。
- 設定メニュー: 回転でナビゲートし、短押しで選択します。

左ダイヤル

L600Cーライトモード制御

- **回転:**選択したライトモードのパラメーターを調整します。
- **短押し:**パラメーターを切り替えます(色相／彩度、CCT／色合いなど)。
- **長押し:**ライトモード選択メニューを開きます。
- **ライトモード選択メニュー:**回転でナビゲートし、短押しで選択します。
- **設定メニュー:**短押しで1段階戻ります。

L600Dーセカンダリ調光

- **回転:**光量を調整します(0.0～100%)。回転を速くするとスピードが増加します。
- **設定メニュー:**短押しで1段階戻ります。

ライトのオン／オフの切り替え

右の白いボタンを短押しすると、ライトのオン／オフができます。


ライトの調光

センターボタンを回して、明るさの比率を0～100%の間で調整します。

- ダイヤルをゆっくり回すと、1ステップにつき0.1%刻みで光量が変わります。
- ダイヤルをすばやく回すと調整速度が速くなります。

ユーザーインターフェースのロック／ロック解除

使用中の偶発的な変更を防ぐために、インターフェースのコントロールをロックすることができます。

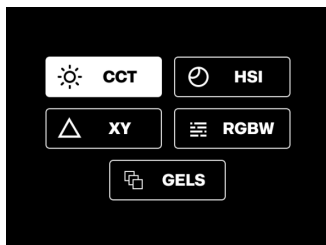
- センターダイヤルを長押ししてユーザーインターフェースをロックします。
- ロックされると、メイン画面の上部にロック状態を示すロックアイコン  が表示されます。
- この間、アンロック機能以外のすべてのコントロールが無効になります。
- センターダイヤルを長押しでロック解除されます。

ライトモードの選択と制御 (L600C のみ)

L600C ライトには、6つの選択可能なライトモードがあり、それぞれ異なる方法で光の色特性を調整できます：

- **CCT** — 色温度と色合いを調整できる白色光モード。
- **HSI** — 色相と彩度を調整できるカラーモード。
- **XY** — X/Y座標コントロールを使用して正確なカラー定義を行うカラーモード。
- **RGBW** — 赤、緑、青、白の各チャンネルを個別にコントロールできるカラーモード。
- **GELS** — LEE と Rosco カラーフィルターをベースにしたプリセットを選択できるシミュレートカラーフィルターモード。

ライトモードを変更するには、左ダイヤルを長押ししてライトモード選択メニューを開きます。

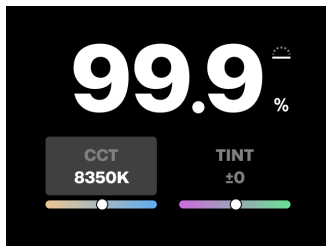


または、「設定」>「ライトモード」からライトモードのオプションにアクセスすることもできます。

各モードの詳細については、以下のセクションを参照してください。

CCT ライトモード



CCT は CCT (相関色温度) と色合い (緑／マゼンタシフト) を調整できる初期設定の白色光モードです。CCT ライトモードのメイン画面と操作方法は以下ようになります。



- 右ボタンクリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- センターダイヤル回転させて調光レベルを調整します (0.0 ～ 100 %)。
- 左ダイヤルクリックして選択し、回転させて調整します：
 - CCT (2000 K ～ 15000 K)。
 - 色合い (-100 ～ +100)。

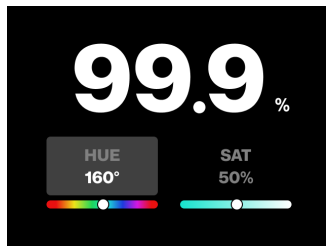
注記：

CCT ライトモードには 2 つの出力モードがあり、「設定」>「CCT Output (CCT 出力)」で選択できます。

-  **Constant (一定)** (工場出荷時の設定) — 設定された調光レベルに基づいて、CCT 範囲 (～ 2600 K ～ 8000 K) で一貫した強度を維持するために最大光出力を制限します。
-  **Max (最大)** — 出力キャップを外し、選択した CCT で可能な最大強度を可能にします。

HSIライトモード

HSIは、色相と彩度を調整してカスタムカラーを作成できるカラーライトモードです。HSIライトモードのメイン画面と操作方法は以下のようになります。



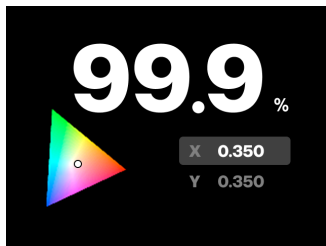
- **右ボタン**クリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- **センターダイヤル**回転させて調光レベルを調整します (0.0 ～ 100 %)。
- **左ダイヤル**クリックして選択し、回転させて調整します：
 - 色相 (0 ～ 360°)。
 - 彩度 (0 ～ 100%)。

注記：

色相と彩度を調整した際、出力の強さは一定にはなりません。出力レベルはカラー設定によって異なります。

XYライトモード

XYは、X/Y座標値を使ってライトの色を調整できるカラーライトモードで、カラーマッチングやキャリブレーションを正確にコントロールできます。XYライトモードのメイン画面と操作方法は以下のようになります。



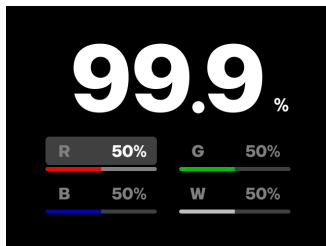
- **右ボタン**クリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- **センターダイヤル**回転させて調光レベルを調整します (0.0 ～ 100 %)。
- **左ダイヤル**クリックして選択し、回転させてX座標とY座標を調整します。

注記:

XとYの値を変えた際、出力の強さは一定にはなりません。出力レベルは、選択された色座標によって異なります。

RGBW ライトモード

RGBW は、赤、緑、青、白の各チャンネルの強さを手動で調整できるカラーミックスモードです。RGBW ライトモードのメイン画面と操作方法は以下のようになります。



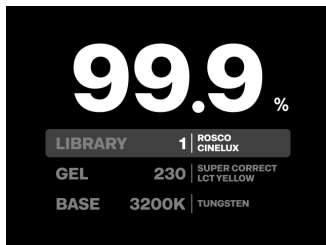
- **右ボタン**クリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- **センターダイヤル**回転させて調光レベルを調整します (0.0 ～ 100 %)。
- **左ダイヤル**クリックして選択し、回転させて赤、緑、青、白を個別に調整します (0～100%)。

注記:

- 出力の強さは RGBW の組み合わせによって異なります。チャンネル間の自動正規化は行われません。
- RGBW カラースペースは、「設定」>「RGBW color space (RGBW カラースペース)」で選択できます。
- 選択可能なすべての RGBW カラースペースは、6500 K のホワイトポイントに調整されます。

GEL (カラーフィルター) ライトモード

GEL モードでは、タングステン (3200 K) またはデイルイト (5600 K) のベースライトに合わせて、バーチャル LEE および Rosco カラーフィルターを適用できます。



- **右ボタン**クリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- **センターダイヤル**回転させて調光レベルを調整します (0.0 ～ 100 %)。
- **左ダイヤル**クリックして選択し、回転させて個別に調整します：
 - ライブラリ: 9つのカラーフィルターライブラリからお選びください。
 - カラーフィルター: アクティブライブラリからカラーフィルターを選択します。
 - ベース: ベースライトを 3200 K または 5600 K に設定します。

注記:

カラーフィルターを変えた際の光量は一定ではありません。出力レベルは、選択されたカラーフィルターとベースライトの組み合わせによって異なります。

有線または無線リモートコントロールの設定

Profoto L600D/C は、以下のリモートコントロールオプションに対応しています：

- 有線 DMX
- CRMX (ワイヤレス DMX)
- Bluetooth CRMX
- Profoto コントロールアプリ (Bluetooth 経由)
- Profoto Air

DMX / CRMX の優先順位に関する注記

DMX ケーブルが接続され、CRMX と Bluetooth の両方が有効な場合、ライトは自動的に以下の順序で受信制御信号を優先します：

- 有線 DMX
- CRMX
- Bluetooth CRMX

有線 DMX

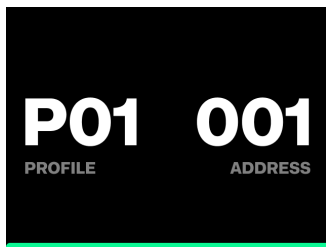
「設定」>「DMX」で DMX アドレス、プロファイル、一般的な DMX 動作を設定します。

1. DMX コントローラーを DMX IN ポート (5 ピン XLR、電源コネクターの隣) に接続します。
2. 同じアドレスに 2 つ目の機材をデジチェーン接続するには、最初のユニットの DMX OUT ポートから次のユニットの DMX IN ポートに接続してください。

L600D/C が有効な DMX 信号を検出したら：

- DMX メイン画面が表示され、下部に緑色の線が表示されるとともに、選択されたプロファイルとアドレスが大きく表示されます。
- 設定メニューへのアクセスを除き、ローカルコントロールは無効となります。
- DMX プロファイル、アドレス、および関連設定は、DMX が有効な場合でも、常に設定 > DMX で変更できます。

DMX メイン画面



CRMX

L600D/Cには、CRMXワイヤレスDMXコントロール用のLumenRadio TimoTwoモジュールが搭載されています。

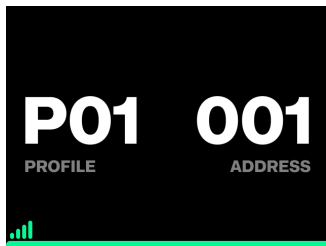
有線DMX接続の場合と同様、「設定」>「DMX」でDMXアドレス、プロフィール、一般的なDMX動作を設定します。

CRMX送信機とリンクする場合：

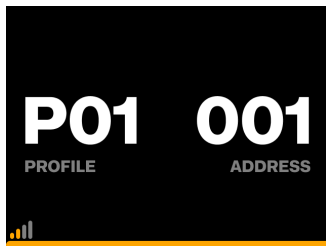
1. **設定>ワイヤレス>モード**と進み、CRMXレシーバーがオンに設定されていることを確認してください。
2. CRMXのステータスが「LINKED (接続)」の場合、「UNLINK (切断)」を押して以前の接続を消去してください。
3. CRMXトランスミッターの「LINK (接続)」ボタンを押してペアリングを開始します。

リンクされてCRMX信号が存在する状態：

- DMXメイン画面が表示され、有効なプロファイルとDMXアドレスが表示されます。
- 信号強度は左下に表示されます。
- 信号が弱い場合、画面下部の緑の線が黄色に変わります。



CRMXリンク済み、信号良好のDMXメイン画面。



CRMXリンク済み、信号不安定のDMXメイン画面。

Bluetooth CRMX

搭載の LumenRadio TimoTwo モジュールは、Blackout アプリによる Bluetooth CRMX コントロールも対応しています。


Bluetooth CRMX 接続を有効にするには、以下の両方が設定されていることを確認してください：

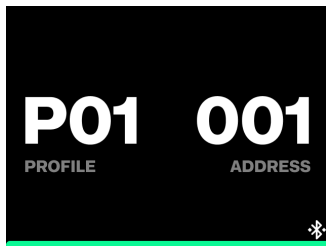
- CRMX レシーバーがオンで、かつリンクされていない(「設定」>ワイヤレス>モード>CRMX レシーバー)。
- Bluetooth がオンになっており、切断されている (設定 > Bluetooth)。

その後、Blackout アプリの指示に従ってライトを接続してください。

アプリ内でこの機材は利用可能な Bluetooth デバイスのリストに"[モデル名] TimoTwo"として表示されます。

接続に成功したら：

- DMX メイン画面が表示され、有効なプロファイルと DMX アドレスが表示されます。
- 画面右下に Bluetooth 接続アイコン  が表示されます。



Bluetooth DMX を接続した DMX メイン画面。

Profoto Control アプリ

内蔵の Bluetooth モジュールは、App Store および Google Play で入手可能な Profoto Control アプリによるリモートコントロールに対応しています。詳しくは profoto.com をご覧ください。

ライトを Profoto Control アプリとペアリングするには、Bluetooth がオンで、切断されている (**設定 > Bluetooth**) ことを確認します。

その後、アプリの指示に従ってライトを接続してください。

注記:

一度 Profoto Control アプリに接続されたライトは、次にアプリを起動したときに自動的に再接続されます。次回以降、接続しない場合は、アプリから手動でライトを切断してください。

Profoto Air (および Air フラッシュモード)

Profoto Air は、すべての Profoto ライトに搭載された独自のワイヤレスシステムです。Profoto Connect Pro などの Profoto オンカメラリモコンを介したリモートコントロールとフラッシュトリガーを可能にします。Profoto Air を選択すると、Air フラッシュモードも有効になり、定常光の代わりにライトをフラッシュ光源として使用できます。

Air フラッシュを有効にした場合：


- 定常光は微量のスタンバイレベルまで調光できます
- このライトは、Profoto リモートからトリガーされると、設定された強さで 30 ミリ秒のフラッシュを点滅します。

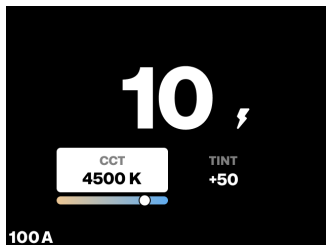
Air フラッシュモードは、完全な定常光出力をアクティブにせず、高強度のフラッシュが必要な場合に最適です。特にポートレート撮影において、消費電力を抑え、被写体の快適性を向上させます。

Profoto Air (および Air フラッシュ) を選択するには：

1. **設定 > ワイヤレス > モード** を選択し、Profoto Air を選択します。
2. Profoto Air メニューが開き、以下の操作が可能になります：
 - リモートで設定したものと同一 Air チャンネル (1 ~ 100) を選択します。
 - ライトを Air グループ (A ~ F) に割り当てます。
 - ライトをフラッシュとして使用したい場合は、Air フラッシュを有効にします。

Profoto Air がアクティブになったら:

- メイン画面の調光スケールがProfoto スケール (0.1 ~ 10) に変更され、Profoto リモートのスケールと一致します。
- 選択されたチャンネルとグループは、スクリーンの左下隅に表示されます。
- Airフラッシュが有効になっている場合、メイン画面にフラッシュアイコン  が表示されます。




Profoto Air と Air フラッシュが有効の状態のメイン画面。

設定メニューのナビゲーション

設定メニューでは、本機のすべての設定可能なオプションにアクセスできます。

- センターダイヤルを短押しすると設定メニューが表示されます。

 SETTINGS	
DMX	P1-001
WIRELESS	OFF
BLUETOOTH	ON
<hr/>	
LIGHT MODE	CCT
DIMMING CURVE	LINEAR
CCT OUTPUT	CONSTANT
RGBW COLOR SPACE	DEVICE
<hr/>	
AUTO ON	ON
FAN	AUTO
INPUT POWER LIMIT	AUTO
DISPLAY OPTIONS	>
GENERAL	>
FACTORY RESET	>

- 右ボタンを短押しするとメニューが終了します。
- 左の矢印を短押しすると1段階前の画面に戻ります。

以下のセクションで、すべてのサブ設定の概要について説明します。

DMX 設定

DMX サブメニュー では、DMX 関連のすべての設定を行うことができます。

DMX	
ADDRESS	001
PROFILE	P1
RDM	OFF
TERMINATION	ON
LOSS BEHAVIOR	HOLD LAST
SMOOTHING	OFF

アドレス

機材の DMX アドレス (001 ~ 512) を設定してください。工場出荷時のアドレスは 001 です。

プロファイル

お使いのコントローラーとワークフローに合った DMX プロファイルを選択します。使用可能なプロファイルの詳細については、profoto.com/supportにて L600D および L600C DMX プロファイル仕様を参照してください。工場出荷時のプロファイルは P1 です。

RDM

RDM (リモートデバイス管理) を有効または無効にします。

- **オフ** (工場出荷時の設定) = RDM 無効。
- **オン** = RDM 有効。

終端設定

DMX 終端設定：

- **オフ** = DMX 信号を他のデ이지チェーン接続されたライトに転送します。
- **オン** (工場出荷時の設定) = DMX 信号を終了します。

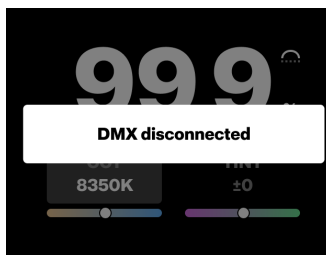
ヒント：ひとつの DMX チェーンで複数の機材を使用する場合、チェーンの最後のライトを終端とすることが推奨されます。

損失時の動作

DMX 信号が失われた場合の動作を選択します：

- **Hold Last (保持)** (工場出荷時の設定) ー 直前に設定された値を保持します。
- **Black Out (ブラックアウト)** ー 照明が消えます。
- **Hold 2 min, Fade out (2 分間ホールド後にフェードアウト)** ー 2 分間直前の設定を維持し、その後ゆっくりと消灯します。

DMX 信号が失われた際 (原因の例：ケーブルが抜かれたなど)、DMX 喪失時の動作が「Hold Last (保持)」に設定されている場合、ユーザーがボタンを押すか、DMX が再接続されるまで、「DMX disconnected (DMX 切断)」のポップアップがスクリーンに残ります。



Smoothing (スムージング)

DMX トランジションがどの程度スムーズに処理されるかを調整します：

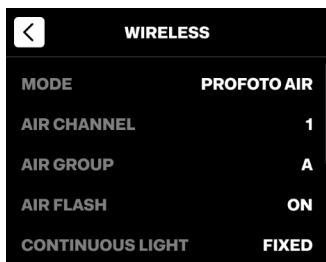
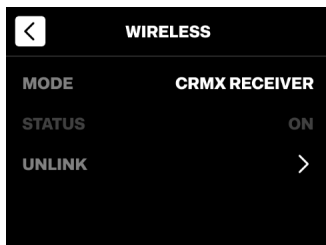
- **オフ** (工場出荷時の設定) ー 最大応答速度 (スムージングなし)。
- **Smooth (スムーズ)** ー トランジションが 2 つの DMX フレームでスムージングされます。
- **Super Smooth (スーパースムーズ)** ー トランジションが 4 つの DMX フレームでスムージングされるため、8 ビットモードでも非常にスムーズな調光が可能です。

ワイヤレス設定

ワイヤレスメニューでは、ワイヤレスコントロールモードを選択できます：

- **オフ** (工場出荷時の設定) — Bluetooth 以外のすべてのワイヤレス通信を無効にします。
- **CRMX レシーバー** — LumenRadio 経由のワイヤレス DMX を有効にします。
- **Profoto Air** — Profoto 独自のリモートコントロールおよびフラッシュシンクロシステムを使用可能にします。

CRMX レシーバーまたは Profoto Air を選択すると、詳細設定のためのサブメニューが開きます。



各ワイヤレスモードの詳細設定については、「有線または無線リモートコントロールの設定」を参照してください。

Bluetooth 設定

Bluetooth はオンまたはオフに設定できます。工場出荷時の設定のオンであり、Bluetooth CRMX を有効にしてライトを Profoto Control アプリとペアリングするために必要です。

Profoto Control アプリまたは Blackout アプリに Bluetooth 経由で接続する方法については、「有線または無線リモートコントロールの設定」を参照してください。

ライトモード設定 (L600C のみ)




ライトモード設定メニューでは、5 つのオプションライトモードを選択できます。CCT が工場出荷時のモードです。

- **CCT** (工場出荷時の設定)
- **HSI**
- **XY**
- **RGBW**
- **GELS (カラーフィルター)**

各モードの詳細については、「ライトモードの選択と制御 (L600C のみ)」のセクションを参照してください。

調光カーブ設定:

4 つの調光カーブから選択し、調光時の光の反応をカスタマイズできます。リニア以外のカーブを選択した場合、メイン画面の右側 (パーセント記号のすぐ上) に調光カーブのアイコンが表示されます。



- **Linear (リニア)** (工場出荷時の設定) 一標準的な線形調光応答。
-  **Logarithmic (対数)** 一高い明るさレベルで最もスムーズな調光。
-  **Exponential (指数)** 一低い明るさレベルで最もスムーズな調光。
-  **S-curve (Sカーブ)** 一低い明るさレベルでも高い明るさレベルでもスムーズな調光。

注記:

- 選択した調光カーブは、Profoto Air (フォトモード) では適用されません。

CCT 出力設定 (L600C のみ)

CCT 出力メニューでは、2つの CCT 出力設定を選択できます。選択された設定は、CCT モードのメイン画面右側に CCT 出力アイコンで示されます。

-  **Constant (一定)** (工場出荷時の設定) : 設定された調光レベルに基づいて、CCT 範囲 (~2600 K ~ 8000 K) で一貫した強度を維持するために最大光出力を制限します。
-  **MAX (最大)** : 出力キャップを外し、選択した CCT での最大強度を可能にします。

注記:

選択された CCT 出力設定は、CCT ライトモードにのみ適用されます。

RGBW カラースペース設定 (L600C のみ)

RGBW カラースペースメニューでは、利用可能な 4つの RGBW カラーペースから選択できます:

- **Device (デバイス)** (工場出荷時の設定)
- **Rec.709**
- **Rec.2020**
- **DCI-P3**

選択可能なすべての RGBW カラーペースは、6500 K のホワイトポイントで調整されます。

注記:

選択した RGBW カラーペースは、RGBW ライトモードにのみ適用されます。



Auto on (自動 ON) 設定

自動 ON は、ライトが電源に接続されたときの動作を決定します。以下のうちから選択できます:

- **オン** (工場出荷時の設定) : 電源が接続されると、以前に選択した設定でライトが自動的に点灯します。
- **オフ** : 電源が接続されてもライトは消灯したままで、手動で点灯させる必要があります。

Fan (ファン) 設定

3つのファンモードから選択します。オート以外のモードが有効な場合、メイン画面の右上にファンモードのアイコンが表示されます。

- **Auto (自動)** (工場出荷時の設定) — 安全な動作温度を維持するためにファンの速度を自動的に調整します。
-  **Max (最大)** — オートモードでの最大速度に相当するスピードを保ってファンを作動させます。
-  **Silent (静音)** — 最小の一定速度でファンを作動させます。

注記:

サイレントファンモードでは、ライトの最大出力が制限されます。

Input power limit (入力電力制限) 設定

ライトの入力電力を制限し、最大消費電力を抑える設定です。以下の場合に役立ちます:

- 電源が電流制限のあるヒューズ付き。
- 複数の照明が同じ回路を共有する。
- ポータブル発電機またはバッテリーパックを使用する。

利用可能な3つの入力電力制限から選択します。オート以外の制限が有効な場合、選択された電力制限がメイン画面の左上に表示されます。

- **Auto (自動)** (工場出荷時の設定) — 入力電圧に基づき、自動的に最高入力電力を許可します。
- **450 W** — 入力電力を 450 W に制限します。
- **300 W** — 入力電力を 300 W に制限します。
- **150 W** — 入力電力を 150 W に制限します。

Display option (表示オプション) 設定

表示オプション設定を調整することで、メイン画面に特定の情報を表示または非表示にしたり、画面の明るさを設定したりします。

利用可能なオプション:

- 入力電源
 - **Show (表示)** —メイン画面に現在の消費電力を表示します。
 - **Hide (隠す)** (工場出荷時の設定) —メイン画面の電力消費情報を非表示にします。
- DMX 情報
 - **Show (表示)** —選択された DMX プロファイルとチャンネルをメイン画面に表示します。
 - **Hide (隠す)** (工場出荷時の設定) —メイン画面の DMX 情報を非表示にします。
- Display Brightness (ディスプレイの明るさ)
 - **Auto (自動)** (工場出荷時の設定) : 周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさを自動調整します。
 - **Max (最大)** : 明るさを最大レベルでロックします。
 - **Medium (中)** : 明るさを中レベルでロックします。
 - **Low (低)** : 明るさを低レベルでロックします。

General (一般情報)

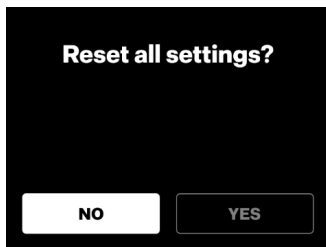
General (一般情報) のサブメニューは情報提供のみで、ここで設定を変更することはできません。ユニット固有の統計情報、ハードウェアの詳細、ファームウェアのバージョン、および規制情報へのアクセスを提供します。

サブメニューで利用可能な情報

- **Unit Stats (ユニット統計)** — 総ランタイムと電源オン回数 (セッション) に関する使用情報を表示します。
- **About (概要)** — シリアル番号、ハードウェアのバージョン、インストールされているファームウェアのバージョンが表示されます。
- **Regulatory Info (規制情報)** — 関連する認証やコンプライアンス情報をリストアップしています。

Factory reset (出荷時の設定に戻す)

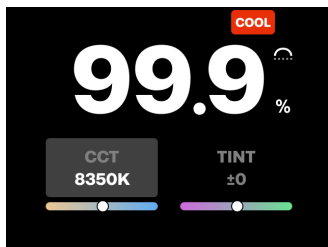
すべてのデバイス設定を工場出荷時の設定に戻す際に使用します。このアクションは、すべてのユーザー定義コンフィギュレーションをリセットしますが、ファームウェアのバージョンやランタイム統計には影響しません。



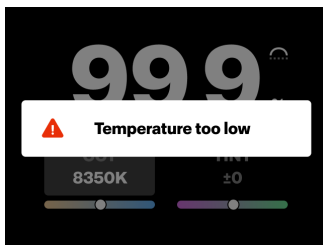
Automatic Temperature Protection (自動温度保護)

L600D/Cは、過熱や極端な低温による損傷を防ぐため、温度プロテクションを搭載しています。

- **Too hot (高温)** — 内部温度が危機的に高くなると、メイン画面に「COOL」インジケータが表示されます。
温度が上昇し続けると、光出力は停止し、ファンは冷却のために最高速度に切り替わります。



- **Too cold (低温)** — 液冷の臨界最低温度以下（凍結時など）で電源を入れた場合、同様の警告が表示されます。



サービスおよびメンテナンス

セルフメンテナンス

ユニットを掃除するには、表面を少量の中性洗剤で湿らせた柔らかい布で優しく拭いてください。もう1枚の乾いた布で、残った水分を拭き取ります。

粉塵の蓄積を防ぐため、特に換気口の周辺では、**低圧の圧縮空気を使用して定期的なメンテナンスを行ってください。**

注意:

クリーニングやメンテナンスを行う前に、必ず主電源を抜いてください。

修理

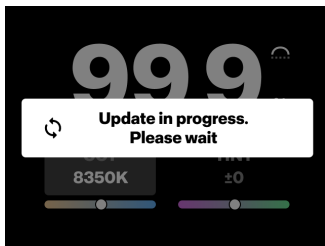
基本的なメンテナンス以上の診断や修理は、訓練を受けた Profoto 認定のサービスパートナーのみ実施できます。サポートについては、Profoto サービスまたは認定サービスセンターにお問い合わせください。

ファームウェアアップデート

製品を完全に機能させるには、常に最新のファームウェアをインストールすることが不可欠です。製品を登録すると、新しいファームウェアが利用可能になったときに通知されます。

ファームウェアのアップデートは、Profoto Control アプリ経由で行ってください。本体がアプリに接続されると、アップデートが利用可能か通知されます。その後、アプリの指示に従ってアップデートを行ってください。

ファームウェアアップデート中は、デバイスのメイン画面に「Update in Progress (アップデート進行中)」のメッセージが表示されます。アップデートの進行状況は、デバイスに接続されたアプリに表示されます。

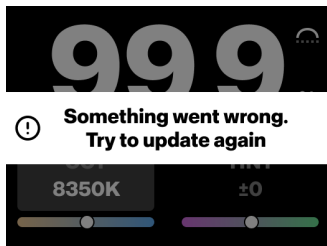


Bluetooth によるファームウェアアップデートが完了すると、デバイスが自動的に再起動します。

- 再起動後に追加の内部アップデートが必要ない場合は、「Updated Successfully (アップデートに成功しました)」のポップアップが3秒間表示されます。デバイスからもアップデートが正常に完了したことがアプリに通知されます。
- デバイスの再起動後にデバイス内部のアップデートが必要な場合、アップデートが進行中であることを知らせるプログレスバー付きの「Finalizing Update (アップデートの最終調整)」ポップアップが表示されます。

内部アップデートが完了すると、「Updated Successfully (アップデートに成功しました)」というポップアップが3秒間表示され、アップデートが正常に終了したことがデバイスからアプリに通知されます。

内部アップデート中に問題が発生した場合、「Something Went Wrong (問題が発生しました)」というポップアップが表示されます。これはユーザーがボタンを押すか、アップデートを再起動するまで表示され続けます。



デバイスに関する規制情報

「設定」>「一般」>「規制情報」で、認証やその他のコンプライアンス情報を確認できます。

デバイスのシリアル番号

シリアル番号はユニット下部に印刷されています。また、「設定」>「一般」>「概要」を選択することでも確認できます。

技術仕様

モデル名	L600D	L600C
規制モデル	PCA2645-0010	PCA2645-0060
定格出力	690 W	690 W
入力電源	100-240 VAC、 50/60 Hz 最大6.9 A	100-240 VAC、 50/60 Hz 最大6.9 A
最大光束	80,000 lm	55,000 lm
CCT (相関色温度)	5600 K	2000 K ~ 15000 K
CRI (演色評価数)	タイプ97	タイプ96
TLCI (テレビ照明整合性指数)	タイプ99	タイプ99

その他の技術仕様と測光情報については、profoto.com をご覧ください。

保証

本製品は工場出荷前に個別にテストされ、保証条件に定める例外を除き、1年間保証されます（デバイスが登録された場合、延長の可能性があります）。

製品に技術的な問題がある場合は、公認 Profoto サービスステーションに連絡するか、次のサイトをご確認ください：<https://profoto.com/support/warranty>

クレジット

App Store は、米国および他の国、地域で登録されている Apple Inc. の商標です。

Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。Profoto による当該マークの使用はすべて、ライセンスに基づいて行われています。

USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の登録商標です。その他の商標と商品名は各所有者の所有物です。

技術データと製品情報は予告なく変更される場合があります。

2025 年 8 月 M0010039-001 #00. スウェーデンにて印刷。

Profoto AB
Box 1264,
17225 Sundbyberg
スウェーデン

+46 (0) 8 447 53 00
info@profoto.com
www.profoto.com

 **Profoto**